

2025 年度 第 37 回 愛知県吹奏楽セミナー 開催要項

愛知県吹奏楽連盟では以下の通り、「2025 年度 第 37 回 愛知県吹奏楽セミナー」を開催いたします。第 37 回目となる今回は、2 本立てです。

まず、1 つめは「新入部員の指導の方法」。担当楽器をどのように決めたらよいのか、初心者に応じたことを教えたら良いのか、といった新学期ならではの先生方のお悩みを解決します！

そして、2 つめは「2025 年度課題曲の指揮の振り方」です。指揮の基本や課題曲の指揮の振り方を、モデルバンドを実際に指揮しながらマスターしましょう！

明日からすぐに生かせる内容ばかりです。ぜひたくさんの先生方にご参加いただけたら幸いです。

【日時】 2025 年 5 月 10 日(土) 13:00～17:30

【会場】 日進市立日進西中学校 武道場

【主催】 愛知県吹奏楽連盟

【講師】 中村 暢宏(指揮者・椋山女学園非常勤講師)

清野 雅子(Nisshin Wind Orchestra・セミナー委員)

玉谷 敏弘(名古屋市立神丘中学校・セミナー委員)

【モデルバンド】 Nisshin Wind Orchestra

【日程】

13:00 受付

13:15 開会式

13:30 第Ⅰ部『初心者の指導の方法』(講師:玉谷先生&清野先生)

14:45 休憩

15:00 第Ⅱ部『2025 課題曲の指揮の振り方』(講師:中村先生)

17:30 閉会式

《開会式》 理事長あいさつ、講師紹介

《閉会式》 理事長あいさつ、今後の連絡、アンケートのお願い

お申込みはこちら↓



【参加費】

① I 部とII 部(聴講)・I 部のみ・II 部(聴講)のみ

・・・1,000 円(資料代含む)

② I 部とII 部(指揮実習)・II 部(指揮実習のみ)

・・・2,000 円(資料代含む)

③高校生以下＜II 部聴講のみ＞・・・500 円

※高校生以下は I 部に参加できません。

【内容】

＜第 I 部＞ 13:30～14:45 「初心者への指導の方法」

初心者の担当楽器をどのように決めるかは、多くの中学校の先生方の悩みだと思います。ひとりひとりの上達に関わってくるだけでなく、部活全体の運営に大きく影響します。また、初心者への楽器の指導は何から始めたら良いのでしょうか。そもそも楽譜が読めない子もいたりします。初めの3日、1週間、1ヶ月と何をどのように教えていくと無理なく効率よく上達させられるのでしょうか。経験豊富なセミナー委員2名がその秘訣を具体的に説明します。

①13:30～14:00 (30分)「担当楽器の決め方」

②14:00～14:45 (45分)「初心者への指導内容」

※②では、金管楽器(トランペット、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ等)のマウスピース、フルートの頭部管、クラリネット、サックスのマウスピース(リードとりガチャーもつけて)などをお持ちいただくと、実際に音出しをしてアンブシュア等を体験しながら学べます。可能ならばぜひお持ちください。

(講師紹介①) 清野 雅子(きよのまさこ)

愛知県立芸術大学音楽学部(ピアノ専攻)を卒業後中学校に赴任し、全く経験の無い吹奏楽部の顧問になった。指導方法がわからなかったため、講習会に参加したり愛知県内外の先生方から指導法を学んだりして現在に至る。日進中・日進西中学校に勤務していた13年間で、東海吹奏楽コンクールに12回、全日本吹奏楽コンクールに8回出場(3回による不出場1回)。その後、Nisshin Wind Orchestra の指揮者として週に一度吹奏楽活動を行い、東海吹奏楽コンクールに6回、全日本吹奏楽コンクールに4回出場。現在は、小学校の校長を務める傍ら、全国各地の吹奏楽の講習会の講師として招かれたり、愛知県吹奏楽連盟セミナー委員として講習会の企画・運営に携わったりしている。

(講師紹介②) 玉谷 敏弘(たまたにとしひろ)

名古屋市立中学校教諭として5つの中学校の吹奏楽部をすべて愛知県を代表するレベルに導いた。これまでに全日本吹奏楽コンクール4回出場、全日本マーチングコンテスト8回出場、全日本アンサンブルコンテスト4回出場し、3つの大会のすべてで「全国金賞」経験をもつ日本で唯一の現役中学校教員である。その指導力が注目され、2015年には吹奏楽指導者向けDVDが株式会社ジャパンライムから全国発売された。さらに2018年度からは部活動ガイドラインを遵守した練習時間でも工夫を重ねて成果を上げ、2020年には第2弾DVDが発売されている。昨年度は、高知県、滋賀県、長野県、京都府の指導者講習会で講師を務め、短時間の部活動でも効果のある指導法について紹介している。

＜第Ⅱ部＞15:00～17:30 「2025 課題曲の指揮の振り方」

「指揮を振る自信がない」「指揮の基本をよく知らない」「コンクールで子どもたちの演奏を生かすようにうまく指揮したい」など、指揮について悩んでいる先生方は実は多いのです。でも、指揮のことを勉強する機会は身近になく、なんとなく敷居が高いのも事実です。今回はそのニーズに応えます。まず「指揮の基本」について学びましょう。そして、課題曲を実際に指揮しながら、指揮者としてご活躍の中村先生に指揮を振るポイントを教えてください。難しい箇所の攻略法や練習法、コンクールで映える指揮など、先生方の知りたかったことが盛りだくさんです。

①15:00～15:30 (30分)「指揮の基本動作」

※聴講の先生方もぜひ指揮棒をご持参ください！

②15:30～16:00 (30分) 課題曲Ⅰ「祝い歌と踊り唄による幻想曲」

③16:00～16:30 (30分) 課題曲Ⅱ「スキップ、ステップ、ノンストップ」

④16:30～17:00 (30分) 課題曲Ⅲ「マーチ『メモリーズ・リフレイン』」

⑤17:00～17:30 (30分) 課題曲Ⅳ「Rhapsody～Eclipse」

※②～⑤では、中村先生の参考演奏に加えて、実際に先生方(希望者は事前申込)にも指揮を振っていただき指揮のアドバイスを受けます。

※指揮の実践希望は先着で8名までとします。(聴講は人数制限ありません)

※②～⑤の時間や曲順は変更することがあります。

(講師紹介③) 中村 暢宏(なかむらのぶひろ)

1973年東京都生まれ。96年愛知県立芸術大学(ヴァイオリン専攻)卒業。

ヴァイオリン奏者として、94年日本室内楽アカデミーにおいて奨励賞、96年第3回川崎音楽賞コンクールにおいて第3位、および多くの副賞を受賞。96年にドイツ・シュツットガルトへ留学し研鑽を積む傍らドイツ国内各地で演奏活動を行う。帰国後は東京フィル等の在京オーケストラの他、名古屋フィル、群馬響、セントラル愛知響、浜松フィルなど各地のオーケストラに客員奏者、または客演首席奏者として活動。08年、中日新聞上の「オーケストラ退団、そして指揮者へ」の記事と共に活動の中心を指揮へ転換。これまでに、セントラル愛知交響楽団、愛知室内オーケストラ、松本室内合奏団、など数多くの団体の公演を指揮。また四日市市制111周年協賛事業や、豊田市コンサートホール10周年事業「チェロの森」、第11回岐阜県アマチュアオーケストラフェスティバル(ホルスト:惑星)、第31,38,42回東海学生オーケストラ連盟の公演を指揮。07年にはロシア・サンクトペテルブルグ国際指揮者マスタークラスに参加。同時にサンクトペテルブルグ国立交響楽団の公演において指揮者として選拔され、ペロゼルスキー宮殿にて同団を指揮。東ヨーロッパ評論家から紙面などで絶賛された。12年にはブルガリア国立プロヴディフ・フィルハーモニー交響楽団の定期公演に客演し、プロヴディフにおいて数十年ぶりの再演となる、ショスタコーヴィチ:交響曲第5番を指揮し、紙面・ラジオなどで話題となった。また13年にはウィーン楽友協会においてベートーヴェン:ミサ・ソレムニスを指揮。18年には再び楽友協会へ登壇し、伊福部昭シンフォニア タブカーラ、マーラー1番などを指揮した。これまでに一宮市消防音楽隊常任指揮者などを歴任し、現在、プランタン管弦楽団常任指揮者、名古屋アマデウス室内管弦楽団音楽監督、名古屋市民吹奏楽団常任指揮者、相山フィルハーモニーオーケストラ指揮者、相山女学園大学シンフォニーオーケストラ、愛知工業大学管弦楽団指揮者など数多くを務める。名古屋フランス音楽研究会員。